

講座名	「学級経営の充実に向けてのポイント」【学級経営と週案活用】		
講師	池間生子（那覇市立神原小学校長）		
期 日	平成23年4月27日（水）	時 間	15：30～16：45
場 所	那覇市立教育研究所 大会議室	人 数	小45 中6 所員8 計59
内 容	<p>1 子どもたちの実態把握に努めていますか</p> <p>2 魅力ある学級づくりとは</p> <p>3 よりよい人間関係とは</p> <p>4 教師の指導の在り方で児童生徒が見せる学級状態</p> <p>5 規範意識を高める指導を意識してみよう</p> <p>■ざわめくクラス</p> <p>1 学級崩壊へすすむ時</p> <p>2 よく行われる応急処置的な対応</p> <p>3 なぜ児童生徒と教師の間の信頼関係が崩れたのか</p> <p>■授業を支える学習の約束事はできていますか</p> <p>1 授業は「話す・聞く・書く・読む」の基本で成立する</p> <p>2 授業に関係ないものは片付ける</p> <p>3 授業の「はじめ」「おわり」のあいさつはきちんと行う</p> <p>■おかしいと気がいたら</p> <p>1 なぜ、そのようなことが起きているのか、児童生徒の観察をしよう</p> <p>2 教師としての自分を振り返る</p> <p>■信頼関係を取り戻す</p> <p>■週案を書いているフレッシュ先生に質問します</p> <p>■ベテラン先生からのアドバイス その1 その2</p> <p>■週案作成のポイントを知ろう 中学校 小学校</p>		
感想 質 問	<p>小 新学期が始まって、怒り方、注意の仕方の指導について、とても悩んでいました。とても心に残った言葉は、「よく怒られる子は、他の先生にもよく怒られます。」というお話です。児童のよさを見つけ、その子のよさをほめてやるのが大切だと改めて気づかされました。</p> <p>中 今回の講座をきいて週案の書き方やその役割について知ることができてよかったです。これから私の教師生活が始まるので、今後の自分のためにも、今回教わったことを活かして書いていきたいです。また、学級経営についてもいろいろと実践できることがあったので、行っていきたいです。</p> <p>小 子どもたちの日常から子どもたちのよさを見つけて、ほめる！悪いことをしたら指導する！日頃から継続していくこと、準備をしていくことが基本であると再確認しました。</p> <p>小 今回で3回目の受講になりますが、授業の進め方、子どもたちとの向き合い方、週案の活用どれもまだまだのところがあるなど毎回思います。また改めて直していくところが見えてきました。</p> <p>小 一人ひとりの児童が教師をよく見ているのだということを再確認できた。教室掲示についても、第1は保護者のためではなく、児童のためであるということはハッとさせられました。</p> <p>小 指導重視ではなく、子どもの意見を尊重していく楽しい学級経営をしたいと思えます。</p>		



講師：池間生子先生

スライド例

おかしいと気がいたら	
児童生徒の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強がわからない ・友達との関係がうまくいかない ・授業がおもしろくない ・家庭に事情がある
教師としての自分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の多忙さが子どもに反映していないか ・日々の対応がおろそかになっていないか ・できないことを子どものせいにしていないか ・子どもの気持ちを汲みとれているか

